平成 26 年度総合リハビリテーション学類/研究科 FD 活動報告

１．臨床実習指導者会議の開催

　のべ 200 施設以上の臨床実習施設（医療機関，社会福祉施設等）の臨床講師（実習指導者）参加のもと，臨床実習教育に関する討議，意見交換を行った。

・理学療法学専攻では，5 月に２～４年次に関わる臨床実習指導者の参加のもと，専攻全教員とともに学内教育と臨床実習教育の融合について協議を行った。

・作業療法学専攻では，前年度 3 月に 4 年次の実習に関わる指導者，7 月には 3 年次に関わる指導者と専攻教員との間でよりよい臨床教育のための協議を行った。

２．授業内容検討会議（カリキュラムワーキング）

・学内授業の連携を図るために各授業の開始される前（4 月と 9 月）に事前協議を年 2 回行った。

・カリキュラム改訂に向けて協議を開始した。

３．高等教育開発センター主催の各種 FD 研修会への参加

・遠隔で行われた FD 研究会へ積極的に参加した。

４．大学院中間報告会への参加

・全教員参加による中間報告会を開催し，院生への指導はもとより，教員間の研究指導に関する教育改革活動の一環としての活用を図った。

５．教育改善のための教員および学生アンケート調査

・栄養療法学専攻では８月に教育内容に関するアンケート調査を行った。

６．大学教育再生加速プログラム（AP）事業の推進

７．在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成プロジェクト（平成 26 年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」選定事業）開始

８．その他

・学部/学類，大学院授業アンケート等，FD 関連のアンケートへの参加を学生に促した。

平成 27 年度総合リハビリテーション学類/研究科 FD 活動計画（案）

学類では臨床実習指導者会議，FD 研修、等につき例年同様の活動の充実を図って行く。

学部では、AP 事業の推進、カリキュラム改訂の検討を継続する。

大学院では全教員参加による中間報告会を引き続き開催し，研究指導方法の更なる改善を図っていくとともに，特に博士後期課程において教育者育成に重点を置いたカリキュラムについて，教務委員会（教育運営委員会）と協力して取り組む予定である。